



防災・減災への取り組みで、現在においてはニュースや広報によって私たちの生活に浸透するようになってきましたが、今から30年前頃は地震に対する対策を行政が主体で取り組んでいたように思います。

各家庭での地震対策が本格的に行われたのは、阪神淡路大震災であると記憶します。31年前の平成7年1月17日5時46分に、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。徳島県内の被害は、震源に近い鳴門市に集中し、けがをした人や家が全半壊した方もたくさんいました。

また、2011(平成23)年には戦後最悪の震災である東日本大震災では、北海道から関東地方にかけて太平洋沿岸部への巨大津波で甚大な被害を受けました。そして、一昨年(平成6年)の1月1日には、能登半島で震度7という強い地震があり、多くの尊い命が犠牲となりました。今も寒い中、復旧作業が続く中で、避難された方々も、決して安心できる状況ではなく、不安な日々を送られていることと思います。私たちはこれらの震災から多くのことを学び、『そのとき』にどう行動するのかを考えておかなければなりません。

これから一年でいちばん寒い季節となり、立春の訪れを待ちわびる思いです。どうか、みなさん一人一人にとって、充実した素晴らしい年になりますよう心から願っております。

いよいよ学年末に向けて、生徒のみなさんにとって1年間のまとめの時期を迎えました。年の初めに際し、もう一度4月に立てた目標を確認し、その実現に向けて努力を積み重ねてほしいと思います。明確なめざす目標やなりたい自分を心に描き、たとえ困難な道であっても、あきらめずに実践をして、成功するまでチャレンジし続けてほしいと思います。

「努力は必ず報われる」そして「思いは必ず叶う！」です。

生徒会役員選挙&新旧役員引継ぎ式



11月27日(木)に生徒会役員選挙を実施しました。会長や副会長に立候補した人が応援弁士の協力を得て体育館で演説を行い、その後、全校生徒が意中の人々に投票しました。立会演説では、どの候補者も「瀬戸中学校を魅力的な学校にしたい。」「みんなが楽しく過ごせる学校にしたい。」「学校のルールについて見直したい。」「様々な行事を改革したい」等、どの候補者も未来の瀬戸中の姿をイメージし、目標を立てて、その実現のために自分ができることを真剣に伝えました。

選挙の結果、新会長をはじめ新生徒会本部役員が決定しました。また、新旧役員引継ぎ式は12月22日(月)に行われ、前生徒会長から新役員の皆さんに熱いエールが送られました。新メンバーでの活動は、先月からスタートしています。新たなステージに進む生徒会のみなさんの活躍を心から応援するとともに、生徒のみなさんも全力で同じ目標に向かって協力してください。

〈1年生、3年生 楽しかった 遠足〉

12月5日(金)に遠足を実施しました。1年生は香川県「中野うどん学校」と「四国水族館」へ、3年生は大阪池田市の「カップヌードルミュージアム」と「神戸須磨シーワールド」へ行きました。

1年生はうどん打ち体験をして、自分が作ったうどんを食べました。

3年生はカップ麺の器をデザインするなどして、楽しみました。須磨シーワールドでは、迫力満点、シャチの曲芸を見学しました。

1年生、3年生とも、みんなで活動して思い出に残る遠足となりました。

〈1年生の様子〉



〈3年生の様子〉



〈合唱コンクール開催〉

12月18日(木)に合唱コンクールを実施しました。今年度も課題曲プラス各クラスで選曲した歌を練習し、精一杯の歌声を響かせてくれました。限られた練習時間の中で、真剣に練習する姿が見え、校舎内に響く生徒の歌声が徐々に大きく、そして美しいハーモニーに変化していくのを身近に感じることができる瀬戸中学校は、あらためてとても素晴らしい学校であると実感できました。

そして本番当日は、3クラスが心を合わせて全力で歌い切りました。各学級での練習や体育館リハーサルの時よりも、やはり本番の方が声がしっかりと出ており、全学年すばらしい合唱でした。



3年A組

2年A組

1年A組

全体の様子

